

令和元年度（2019年度）道北ブロックミーティング アンケート

【Q1】今回のブロックミーティングの内容はどうでしたか？

（1）現地視察・活動報告（中村指導員）

- ・転作でそばの作付けを始めた当初は、そばが北海道を代表する食のイベント（新そば祭り）に繋がったり、そば打ちが高校の必修授業に繋がったりするとは考えつかなかったと思う。また、そば打ちの段位認定に大きく寄与している（全国で段位取得者が14,552名。うち道内の段位取得者3,637名）。
- ・「そば」による幌加内町全体の活性化に関する内容で良い発表だった。中山間地域かつ過疎地域で6次産業化まで繋がっており、他地域の参考となる事例だと思う。
- ・幌加内町の人口の30倍もの来場者を誇る新そば祭りは素晴らしいイベントであり、今後もそば作付け日本一を継続してもらいたい。
- ・新そば祭りの取組の方法について、大変勉強になった。幌加内町の事例を地元で紹介して、来年に向けて話し合いを行う参考にしたいと思う。
- ・そば打ち体験は、限られた時間でご指導いただき良い経験になった。幌加内町におけるそばの作付面積に驚いた。
- ・幌加内町のそばによる振興の話聞き、そば打ちも体験でき、非常に良かった。

（2）ワークショップ

- ・今までも何度か見直しの検討会があったが、今回が一番良かったと思う。具体的な提案もあり、今後少しずつでも取り組んでいけると思う。
- ・各地区で議論した内容が、ふる水事業の発展に結びつけられるよう皆で頑張りたい。
- ・研修の開催場所、開催時期が一番ネックになっているように思う。
- ・新たな指導員の掘り起しや指導員の研修会への出席率向上などの意見集約は重要だと思う。指導員出席者への聞き取りや年間スケジュール計画により出席率を向上させられれば。
- ・各振興局での課題を聞くことができ、良かった。
- ・今回の参加人数にも現れているが、指導員は現役で働いているので、農繁期を終えた時期に開催するなど考えた方がよい。
- ・永遠に山本委員が座長を行うのか。3～5年ごとに担当者を変更するなど変化が必要ではないか。

【Q2】ワークショップで議論した内容以外で、ふる水事業で見直すべき点があれば御記入ください。

- ・ふる水事業全体の見直しが必要ではないか。
- ・指導員の意識を高めるには、どうすれば良いか。
- ・地元の市町村の担当者も研修会等に出席できるようにしてはどうか。ふる水事業のことや取組について理解してもらえないのではないか。

【Q3】 次回のブロックミーティングで取り上げてほしい内容があれば御記入下さい。

- ・今回のような体験型の活動報告も良いと思う。
- ・美瑛町のような町づくりをしっかりとしているところの実例が聞きたい。

【Q4】 ブロックミーティングや研修事業、ふる水事業全体に対しての御意見等がありましたら御記入ください。

- ・自分のことだけではなく、地域に還元して、一人でも多くの方にふる水指導員のことを知ってもらえるように指導員全員で取り組んでいきたい。
- ・研修先を検討するにあたり、委員の方に助言を受けてはどうか。
- ・開催場所が決まっている研修会の場合、いつの開催がよいかアンケートを実施する。
- ・JAの組合員でありながら、女性全員が女性部に入らないことのもどかしさや難しさを感じているので、ふる水事業の大変さが身にしみます。
- ・市町村や土地改良区に対して、ふる水事業の趣旨をどのように説明すれば理解してもらえるか悩んでいる（ふる水活動の啓蒙普及をどのように行うべきか）。市町村や土地改良区向けのふる水活動パンフレットを新たに作成してほしい。